

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 南学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	助産学科	夜・通信	105時間	80時間	
	看護学科	夜・通信	240時間	240時間	
	歯科衛生学科	夜・通信	255時間	240時間	
	理学療法学科	夜・通信	270時間	240時間	
社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	180時間	160時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 南学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校のホームページに公表する。<http://www.minami.ac.jp/disclosure>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	令和5年7月25日 ～令和7年7月24日	経営・調整
非常勤	医師	令和5年7月25日 ～令和7年7月24日	企画・調整
非常勤	歯科医師	令和5年7月25日 ～令和7年7月24日	企画・調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 南学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○ 授業計画書(シラバス)の作成については、本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、設置している5学科(助産学科, 看護学科, 歯科衛生学科, 理学療法学科, 介護福祉学科)の授業計画書(シラバス)を当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容, 到達目標, 成績評価の方法や基準等を明示している。</p> <p>また, 作成した授業計画書(シラバス)は学生に配布するとともに, 毎年度, 適切な時期に学校のホームページに公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学校のホームページに公表する。</p> <p>http://www.minami.ac.jp/disclosure</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>○ 「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について、学則および学則施行細則に規定するとともに、授業計画書(シラバス)に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。</p> <p>また, 定められた授業科目を適切に履修し, 単位を修得したことについて, 学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の議を経て単位を認定している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- 成績評価については、客観的な指標としてGPAを用いた評価を行っている。

(GPAによる評価について：以下「GPAに関する取扱い要項」より)

第2条 この要項において「GPA」とは、各授業科目の成績評価（評点）に対応して4～0の評価（グレード・ポイント）（以下「GP」という。）を付与して算出する1単位当たりの成績評価平均値をいう。

第4条 評価された成績の段階ごとに、次に掲げるGPを配点する。

評価	評点	グレード	ポイント
秀	90～100点	S	4
優	80～89点	A	3
良	70～79点	B	2
可	60～69点	C	1
不可	59点以下	D	0

第5条 GPAは、各学期のGPA（以下「学期GPA」と、入学時から当該学期までのGPA（以下「通算GPA」）の2種類とする。その計算は次に掲げるとおりとし、計算値は小数点第3位を四捨五入し小数点第2位までの数値を表記する。

(1) 学期GPA

$$\frac{\{(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の当該学期のGP})\} \text{の合計}}{(\text{当該学期に履修した単位の総数})}$$

(2) 通算GPA

$$\frac{\{(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目の各学期のGP})\} \text{の合計} \text{の総和}}{(\text{履修した全ての単位の総数})}$$

- 「GPAに関する取扱い要項」により適切なGPAの運用を図るとともに、各学科・各学年のGPA分布図を作成し成績の分布状況の把握に努めている。

また、「GPAに関する取扱い要項」の学生への周知を図り、学校のホームページに公表している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学校のホームページに公表する。
<http://www.minami.ac.jp/disclosure>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○ 卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身に付けている能力）を策定し，各学科に共通して適用している。 また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。</p> <p>鹿児島医療福祉専門学校</p> <p><u>ディプロマポリシー(称号授与の方針，卒業時に必ず身に付けている能力)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校教育課程編成の基本的な考え方に沿って設定した授業科目を履修し，医療・福祉の専門職業人として必要な倫理観と知識・技術・技能を有するとともに，自ら学び続ける能力と，社会・地域に貢献できる次の能力を備えた者に専門士を授与する。 1 医療・福祉の専門職業人として必要な知識・技術・技能・態度を身に付けている。 2 豊かな人間性を身に付け，なにごとにも主体的に取り組むことができる能力を有している。 3 組織やグループの中でリーダーシップやフォロワーシップを発揮できる。 4 チーム医療に必要なコミュニケーション能力を有し，他の職種と協働して遂行できる能力を有している。 5 医療・福祉のニーズに柔軟に対応し，社会・地域に貢献できる能力を有している。 	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 南学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
収支計算書又は損益計算書	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
財産目録	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
事業報告書	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure
監事による監査報告（書）	学校のホームページに公表する。 http://www.minami.ac.jp/disclosure

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

【助産学科】（学科の情報）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	助産				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1020 単位時間	525 単位時間	0 単位時間	495 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1020単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		17人	0人	4人	19人	23人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画書（シラバス）の作成については、本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、助産学科の授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を明示している。また、作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに、毎年度適切な時期に学校のホームページに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について、学則及び学則施行細則に規定するとともに、授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針，卒業時に必ず身につける能力）を策定し，各学科に共通して適用している。また，学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては，「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し，卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。
学修支援等
(概要) G P Aが 1.5 未満の学生に対しては，担任または学科の指導教員等が面談し必要な学修支援を行なう。また，専任教員全員で学生個別面談を行い，学習状況や生活状況の把握に努めている。必要に応じて，保護者との連携を図っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 県内外の病院・医療機関等			
(就職指導内容) 入学時に学科で求人状況や病院・施設等の概要等について説明を行なう。履歴書の記載方法等や面接指導等については，必要に応じて行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・国家資格試験合格率(令和3年度) 助産師：100% ・国家資格試験合格率(令和4年度) 助産師：90.5% ・国家資格試験合格率(令和5年度) 助産師：100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	1人	5.9%
(中途退学の主な理由) 体調不良，学習意欲の低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・医療，介護専門職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。（臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。） ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月1回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施する。 ・人物・学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。		

【看護学科】（学科の情報）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	看護	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3 1 1 0 単位時間	2 1 3 5 単位時間	0 単位時間	9 7 5 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3 1 1 0 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 4 0 人		1 8 8 人	0 人	1 2 人	7 2 人	8 4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成については、本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、看護学科の授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。</p> <p>内容として授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を明示している。また、作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに、毎年度4月当初に学校のホームページに公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について、学則及び学則施行細則に規定するとともに、授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針、卒業時に必ず身につける能力）を策定し、各学科に共通して適用している。また、学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し、卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>G P Aが1.5未満の学生に対しては、担任または学科の教務主任が面談し必要な学修支援を行なう。また、随時、学生個別面談を行うことで学習状況や生活状況の把握に努めている。必要に応じて、保護者との連携を図っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4 5 人 (100%)	2 人 (4.4%)	4 3 人 (95.6%)	0 人 (0%)

(主な就職、業界等) 県内外の病院・医院, 医療機関, 福祉・保健施設等
(就職指導内容) 1年次から就職ガイダンスを実施し, 2・3年生を対象とした病院説明会の開催と3年次4月に就職講話を実施している。また, 履歴書の書き方指導や面接指導も行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) <ul style="list-style-type: none"> ・国家資格試験合格率(令和3年度) 看護師: 98.3% ・国家資格試験合格率(令和4年度) 看護師: 91.5% ・国家資格試験合格率(令和5年度) 看護師: 95.6%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
184人	12人	6.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更, 健康上の問題, 学業不振, 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・医療, 介護専門職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。(臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。) ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月1回開設するとともに, 「学生なんでも相談室」を常設し, 学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては, 担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに, 特に基礎学力に不安を抱える学生には, 前期に「特別授業」, 後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。 ・人物・学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。 		

【歯科衛生学科】（学科の情報）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	歯科衛生	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3077 単位時間	1767 単位時間	0 単位時間	1310 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3077単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		87人	0人	5人	60人	65人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成については、本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、歯科衛生学科の授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を明示している。また、作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに、毎年度4月当初に学校のホームページに公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について、学則及び学則施行細則に規定するとともに、授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針、卒業時に必ず身につける能力）を策定し、各学科に共通して適用している。また、学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し、卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>GPAが1.5未満の学生に対しては、担任または学科長が面談を行い必要な学修支援を行なう。また、随時、学生個別面談を行うことで学習状況や生活状況の把握に努めている。必要に応じて、保護者との連携を図っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
31人 (100%)	0人 (0%)	31人 (100%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 県内を中心とする歯科医院等
(就職指導内容) 2年次の4月に就職講話を実施している。3年次7月の就職オリエンテーションにおいて履歴書の書き方指導等を行い、就職試験前には面接指導を行っている。
(主な学修成果(資格・検定等)) <ul style="list-style-type: none"> ・国家資格試験合格率(令和3年度) 歯科衛生士: 95.8% ・国家資格試験合格率(令和4年度) 歯科衛生士: 86.2% ・国家資格試験合格率(令和5年度) 歯科衛生士: 96.8%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
82人	3人	3.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更, 健康上の問題, 学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) <ul style="list-style-type: none"> ・医療職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。(臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。) ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月1回開設するとともに、「学生なんでも相談室」を常設し、学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては、担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに、特に基礎学力に不安を抱える学生には、前期に「特別授業」、後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。 ・人物・学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。 		

【理学療法学科】（学科の情報）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	理学療法	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3 1 2 0 単位時間	1 7 2 7 単位時間	5 2 3 単位時間	8 7 0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			3 1 2 0 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 4 0 人		1 4 6 人	0 人	9 人	5 5 人	6 4 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成については、本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、理学療法学科の授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を明示している。また、作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに、毎年度4月当初に学校のホームページに公表している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について、学則及び学則施行細則に規定するとともに、授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針、卒業時に必ず身につける能力）を策定し、各学科に共通して適用している。また、学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し、卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>G P Aが1.5未満の学生に対しては、担任または学科長が面談を行い必要な学修支援を行なう。随時、学生個別面談を行い学習支援や生活状況の支援に努めている。また、必要に応じて、保護者との連携を図っている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4 8 人 (100%)	0 人 (0%)	4 8 人 (100%)	0 人 (0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>県外の病院・医院、医療機関、福祉・保健施設等</p>			

(就職指導内容) 3年次の4月に就職講話を実施し、7月と10月に就職説明会を開催する。また、面接指導、履歴書の作成指導を行う。
(主な学修成果(資格・検定等)) ・国家資格試験合格率(令和3年度) 理学療法士:74.4% ・国家資格試験合格率(令和4年度) 理学療法士:86.0% ・国家資格試験合格率(令和5年度) 理学療法士:100%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
169人	20人	11.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更, 健康上の問題, 学業(成績)不振, 経済的理由, 修学意欲(モチベーション)低下, 学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・医療職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。(臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学実習の実施) ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月1回開設するとともに、「学生なんでも相談室」を常設し、学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては、担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに、特に基礎学力に不安を抱える学生には、前期に「特別授業」、後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。 ・人物・学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。		

【介護福祉学科】（学科の情報）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		社会福祉専門	介護福祉	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2166 単位時間	844 単位時間	866 単位時間	456 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2166単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		30人	4人	5人	34人	39人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>授業計画書（シラバス）の作成については、本校の「シラバス作成ガイドライン」に沿って、介護福祉学科の授業計画書（シラバス）を、当該年度の前年度末に作成している。内容として授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を明示している。また、作成した授業計画書（シラバス）は学生に配布するとともに、毎年度4月当初に学校のホームページに公表している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>「学習の評価」と「授業科目の修得及び単位修得の認定」について、学則及び学則施行細則に規定するとともに、授業計画（シラバス）に学修意欲や試験・レポート等による成績評価の方法と評価の基準を記載している。</p> <p>また、定められた授業科目を適切に履修し、単位を修得したことについて、学修成果を厳格かつ適正に評価し認定会議の審議を基に認定している。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業の認定に関してディプロマポリシー（称号授与の方針、卒業時に必ず身につける能力）を策定し、各学科に共通して適用している。</p> <p>また、学生への周知を図るとともに学校のホームページ上に公表している。実施に当たっては、「進級及び卒業の認定」を学則及び学則施行細則に規定し、卒業認定会議の審議を基に適切に認定している。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>GPAが1.5未満の学生に対しては、担任または学科長が面談を行い、必要な学修支援等を行なう。「特別授業」及び「チャレンジセミナー」を実施し、基礎学力の向上を図っている。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (100%)	0人 (%)	11人 (100%)	0人 (%)

(主な就職、業界等) 県内の介護老人福祉施設，介護老人保健施設，障害者支援施設
(就職指導内容) 2年次4月に医療福祉関係の人事担当者等による就職講話を実施している。また，2年生科目の「面接指導」において，就職試験の心構えや対策等を指導している。
(主な学修成果（資格・検定等）） ・国家資格試験合格率(令和3年度) 介護福祉士：100% ・国家資格試験合格率(令和4年度) 介護福祉士：100% ・国家資格試験合格率(令和5年度) 介護福祉士：90.9%
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	1人	3.4%
(中途退学の主な理由) 健康上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・医療，介護専門職の仕事の魅力を伝えるための方策を実施している。（臨地実習でのオリエンテーションの充実や施設見学の実施。卒業生と語る会の実施等。） ・臨床心理士による「カウンセリング室」を月1回開設するとともに，「学生なんでも相談室」を常設し，学生の不安や悩み等を相談する場を整えている。 ・学力不足の学生に対しては，担任や専任教員が補習授業等を実施するとともに，特に基礎学力に不安を抱える学生には，前期に「特別授業」，後期に「チャレンジセミナー」を実施し学修を支援している。 ・人物・学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難が認められる者に対して学校独自の奨学金制度を設けている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
助産	300,000円	900,000円	350,000円	その他欄は施設設備費と実習費の合計
看護	180,000円	540,000円	380,000円	その他欄は施設設備費と実習費の合計
歯科衛生	100,000円	400,000円	200,000円	その他欄は施設設備費と実習費の合計
理学療法	300,000円	800,000円	460,000円	その他欄は施設設備費と実習費の合計
介護福祉	120,000円	420,000円	280,000円	その他欄は施設設備費と実習費の合計
修学支援 (任意記載事項)				
<p>○森永茂樹奨学金(対象:看護学科・歯科衛生学科・理学療法学科・介護福祉学科)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物, 学業成績共に優秀な者で経済的理由により著しく修学に困難があると認められる者。日本学生支援機構第一種奨学金等を受けていない者。 ・貸与月額 3万円, 5万円, 7万円, 10万円から選択 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.minami.ac.jp/disclosure												
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)												
<p>本校の学校関係者評価委員会は、12名の学校関係委員(企業等委員＝医療福祉施設関係委員・保護者委員・卒業生委員各4名)により構成され、学校による「自己点検・自己評価」の内容について、その適否を評価するとともに学校運営(経営, 教育の現状及び短・中期的課題や教育方針, 社会的責務等)について、学校PDCAサイクルが適切に機能するよう提言等を行う。学校は学校関係者評価委員会による評価結果を受け、組織的, 継続的な改善に取り組むこととし、次年度改善策等の実施に向け教務主任・学科長会議及び職員会議等で協議検討を行い、実施体制を整えることとしている。</p> <p>なお、自己評価結果は毎年6月頃に、学校関係者評価委員会による最終評価結果は毎年9月頃にホームページに公表している。</p> <p>・主な評価項目</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 教育理念・目標</td> <td>(6) 教育環境</td> </tr> <tr> <td>(2) 学校運営</td> <td>(7) 学生の受け入れ募集</td> </tr> <tr> <td>(3) 教育活動</td> <td>(8) 財務</td> </tr> <tr> <td>(4) 学修成果</td> <td>(9) 法令等の遵守</td> </tr> <tr> <td>(5) 学生支援</td> <td>(10) 社会貢献・地域貢献</td> </tr> </table>			(1) 教育理念・目標	(6) 教育環境	(2) 学校運営	(7) 学生の受け入れ募集	(3) 教育活動	(8) 財務	(4) 学修成果	(9) 法令等の遵守	(5) 学生支援	(10) 社会貢献・地域貢献
(1) 教育理念・目標	(6) 教育環境											
(2) 学校運営	(7) 学生の受け入れ募集											
(3) 教育活動	(8) 財務											
(4) 学修成果	(9) 法令等の遵守											
(5) 学生支援	(10) 社会貢献・地域貢献											
学校関係者評価の委員												
所属	任期	種別										
公益財団法人 慈愛会 看護部支援室	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員										
医療法人 YUMI DENTAL OFFICE	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員										
医療法人 聖仁会 南薩ケアほすびたる	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員										
医療法人 慈恵会 介護老人保健施設 城西ナーシングホーム	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	企業等委員										

看護学科保護者	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	保護者委員
歯科衛生学科保護者	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	保護者委員
理学療法学科保護者	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	保護者委員
介護福祉学科保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	保護者委員
看護学科卒業生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生委員
歯科衛生学科卒業生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生委員
理学療法学科卒業生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生委員
介護福祉学科卒業生	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.minami.ac.jp/disclosure		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.minami.ac.jp/disclosure
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H146310000207
学校名 (〇〇大学 等)	鹿児島医療福祉専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 南学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		74人	69人	76人
内訳	第Ⅰ区分	48人	43人	
	第Ⅱ区分	14人	12人	
	第Ⅲ区分	12人	14人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				－
合計 (年間)				77人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等 短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	—	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。